

日本から海外へ：伝統や文化を生かした「まちづくり」

ASEAN諸国等15カ国の若手研究者やNGO関係者、25名が研修のために来日

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は「21世紀東アジア青少年大交流計画」(JENESYS Programme)次世代リーダープログラムの一環として、「まちづくり」をテーマに、若手のNGO関係者、行政官、研究者等25名を15カ国から招へいします。

東アジア・東南アジアでは、経済成長に伴い、都市計画や「まちづくり」についての議論が必要とされています。今回の研修プログラムでは、効率性により重点がおかれた都市開発が進む一方、伝統と文化の新たな価値を継承しながら町並の保存に取り組む地域～京都、高山、金沢、白川、五箇山、越中八尾を訪問します。



文化遺産や景観の保存と観光による地域振興のバランスをどのようにとるべきか、「まちづくり」の仕組みはどのようにあるべきか。東アジア・東南アジア地域でまちづくりに携わる将来の担い手たちは、日本各地のまちを歩き、人々と語り、事例をもとにワークショップを行いながら、参加者同士、そして日本とのネットワークを構築します。

招へい期間 2010年7月8日(木)～7月20日(火) 13日間

15カ国、25名の招へい国/人数

インド/1名、インドネシア/2名、カンボジア/1名、シンガポール/3名、タイ/2名、韓国/1名、中国/1名、フィリピン/2名、ブルネイ/2名、ベトナム/2名、マレーシア/2名、ミャンマー/2名、オーストラリア/1名、ニュージーランド/1名、ラオス/2名

視察・訪問内容 世田谷トラストまちづくり/京都市景観・まちづくりセンター/京町家再生研究会/京町家実例・旧校舎活用事例の視察/高山市/白川村荻町/五箇山相倉地区/富山県八尾町/金沢市

高山ワークショップ

「高山のまちを歩いて気づいたこと」

日時 2010年7月14日(水)

18:30～20:00(使用言語 英語)

会場 ひだホテルプラザ 吉祥の間(高山市)

金沢ワークショップ

「金沢のまちを歩いて気づいたこと」

日時 2010年7月18日(日)

16:00～18:00(使用言語 英語)

会場 エクセルホテル東急 エクセレントルーム(金沢市)

ワークショップは原則、非公開ですが、取材を歓迎致します。担当まで事前にご連絡をお願いいたします。

プログラムアドバイザー 西村幸夫(東京大学教授)

1952年福岡県生まれ。東京大学工学部都市工学科卒業、同大学院修了。明治大学助手、東京大学助教授を経て、現在、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授。この間、アジア工科大学助教授、マサチューセッツ工科大学客員研究員などを歴任。工学博士。著書に『都市保全計画』(東京大学出版会)、『環境保全と景観創造』、『西村幸夫都市論ノート』(以上、鹿島出版会)、『町並みまちづくり物語』、『歴史を生かしたまちづくり』(以上、古今書院)、『日本の風景計画』、『都市の風景計画』(以上、共編、学芸出版社)など。



お問い合わせ：国際交流基金 文化事業部 生活文化チーム 担当：志和(しわ)、竹内
電話 03 5369 6060 / FAX: 03 5369 6036 e-mail: Hisae_Shiwa@jpf.go.jp, Masano_Takeuchi@jpf.go.jp